

## 平成17年度決算概要

### 1. 経理方法

当会社では、財政状態及び経営成績を明らかにするため、真実性の原則や正規の簿記の原則などの、一般に公正妥当と認められている企業会計原則に準じた経理処理(企業会計、複式簿記)を行っています。

道路資産については、事業の特徴から、その償還状況をより明確に把握できる償還準備金積立方式をとっており、企業会計上一般に採用されている減価償却方式はとっていません。

償還準備金は、営業中の道路から生ずる毎期の収益差(収益と費用の差)を積立てたものですが、これは、道路資産に投下した借入金の返済(建設費の償還)に充てられます。

財務諸表では、営業中の道路から生ずる毎期の収支差を「償還準備金繰入」として損益計算書に費用計上し、その累計額を「償還準備金」として貸借対照表に表示することとしており、道路の償還状況がわかるしくみとなっています。

平成17年度の決算における償還状況については、営業中の高速道路の総資産額(要償還額)1兆1,165億円に対し、償還準備金は平成17年度末で571億円となっております。

### 2. 貸借対照表

平成17事業年度貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
流動資産	9,280	流動負債	8,199
固定資産	1,144,739	固定負債	859,746
事業資産	1,116,453	福岡北九州高速道路債券	316,337
福岡高速道路	764,093	長期借入金	534,797
北九州高速道路	352,360	退職給与引当金	1,735
事業資産建設仮勘定	25,611	資産見返交付金	6,877
福岡高速道路	25,611	特別法上の引当金等	86,873
北九州高速道路	0	道路事業損失補填引当金	29,751
有形固定資産	2,653	福岡高速道路	17,425
その他	22	北九州高速道路	12,326
償還準備金		償還準備金	57,122
線延資産	1,048	福岡高速道路	76,464
		北九州高速道路	19,342
		(負債合計)	954,818
		基本金	199,731
		剰余金	518
		(資本合計)	200,249
資 産 合 計	1,155,067	負 債・資 本 合 計	1,155,067

語句の説明

資産の部

流動資産

現金、預金及び未収金等

固定資産

事業資産

営業中の道路の建設価格

事業資産建設仮勘定

建設中の道路の建設価格

有形固定資産

建物構築物等の残存価格

線延資産

調査費等の額

負債及び資本の部

流動負債

未払金等の債務額

固定負債

道路債券、政府借入金、団体からの長期借入金等の負債額

特別法上の引当金

道路損失補填引当金

危険負担対応として料金収入の内より充てる資金の累計額

償還準備金

営業中道路の建設に投下した資金返済に充てる額の累計額

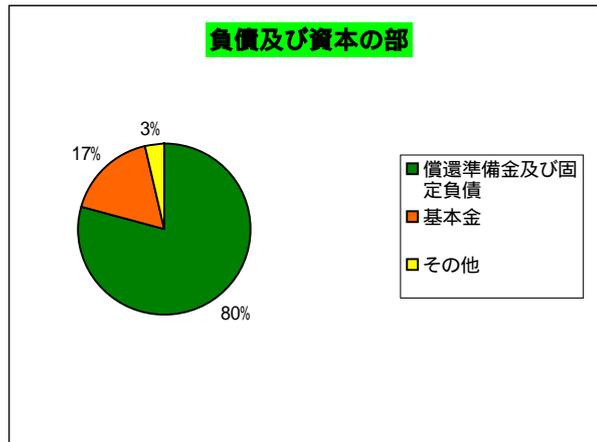
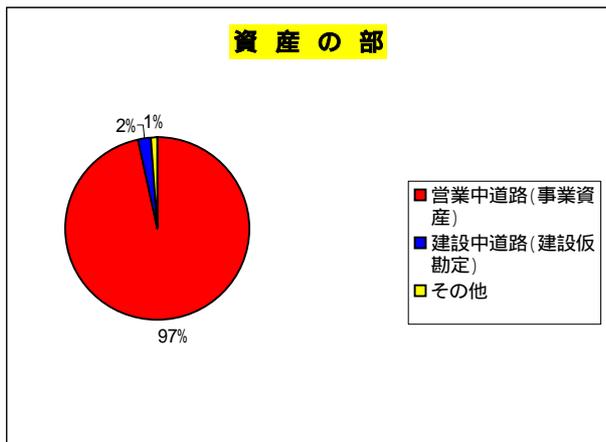
基本金

設立団体出資金累計額

剰余金

駐車場経営の利益金の累計額

貸借対照表 円グラフ



3. 損益計算書

平成17事業年度損益計算書

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで) (単位:百万円)

費用の部		収益の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
経常費用	50,480	経常収益	50,528
事業資産管理費	8,755	業務収入	50,375
福岡高速道路管理費	4,629	道路料金収入	50,058
北九州高速道路管理費	4,046	(福岡高速道路)	33,353
その他	80	(北九州高速道路)	16,705
一般管理費	1,050	その他	317
一般管理費	918	受託業務収入	103
その他	132		
引当金等繰入	28,080	政府助成金収入	0
道路事業損失補填引当金繰入	2,384	業務外収益	50
(福岡高速道路)	1,588	受取利息	1
(北九州高速道路)	796	その他	49
償還準備金繰入	25,696		
(福岡高速道路)	18,854		
(北九州高速道路)	6,842		
受託業務費	103		
業務外費用	12,492		
債券利息	6,162		
借入金利息	6,037		
その他	293		
当期利益金	48		
合計	50,528	合計	50,528

語句の説明

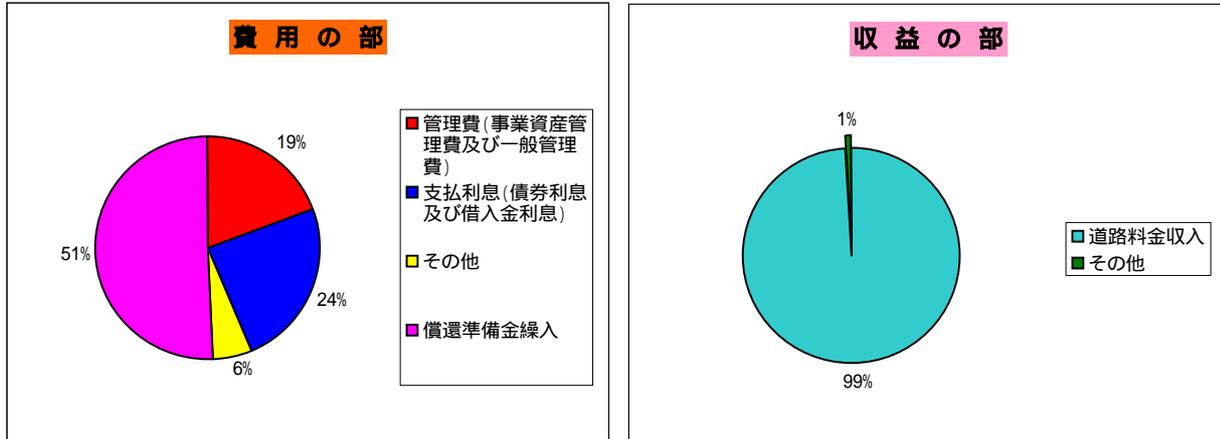
費用の部  
 経常費用  
   事業資産管理費  
     道路の維持管理に要する経費  
   一般管理費  
     人件費等  
   引当金等繰入  
     当該年度の道路事業損失補填金繰入  
     当該年度の償還準備金繰入  
   受託業務費

収益の部  
 経常収益  
   業務収入  
     道路料金収入等  
   受託業務収入  
     他団体より受託した業務に充てる収入  
   政府助成金収入  
     利子補給金  
   業務外収益  
     受取利息等の営業活動以外の収入

他団体よりの受託業務  
業務外費用  
道路債券、長期借入金の利息等

当期利益金  
駐車場経営に伴う利益金  
道路債券、長期借入金の利息等

#### 損益計算書 円グラフ



#### 4. 償還計画と実績の対比

福岡北九州高速道路の償還計画の達成状況を分かりやすく示すため、収入や費用、収支率や償還率等について実績(平成17年度決算)と計画の比較を行いました。

福岡、北九州、両高速の合計の実績について、収入は計画をやや下回りましたが、管理費の縮減努力により支出を抑えたことで費用も計画を下回りました。この結果、償還準備金繰入は計画を達成することができました。今後とも採算性を確保するため、利用促進とともに建設や管理の経費縮減に努めてまいります。

平成17年度

(単位:億円)

道路名	収入(a)	費用(b)				償還準備金繰入(a-b)	収支率(%) b/a × 100	償還準備金	事業資産	償還率(%)
		管理費	損失補填引当金繰入	金利	合計					
合計	502	97	24	125	245	257	49%	571	11,165	5%
	505	101	24	125	250	254	50%	568	11,162	5%
福岡高速	334	51	16	79	146	189	44%	765	7,641	10%
	335	52	16	79	147	187	44%	764	7,639	10%
北九州高速	168	45	8	46	100	68	59%	193	3,524	-6%
	170	49	8	46	103	67	61%	195	3,524	-6%

上段:実績

下段:償還計画

四捨五入の関係で計が合わないことがある。

#### 償還計画の対比方法

償還計画は、福岡は提供用及びETC導入に伴う料金認可(平成18年3月認可)、北九州は小倉東IC連結に伴う料金認可(平成18年1月認可)の値とした。実績(平成17年度決算)と対比するため償還計画を下記のとおり変換した。

- ・管理費は償還計画表上の管理費から道路改良費を減し、減価償却費と退職給与引当金繰入を加算した。また、納付(還付)消費税については、実績値に変換した。
- ・償還準備金繰入は、収入から管理費、金利、損失補填引当金繰入を差引いた。
- ・償還準備金は、計画作成時の実績に各年度の償還準備金繰入を加算した。
- ・事業資産は、計画作成時の実績に供用年度に供用した道路の建設費の累計を加算するとともに、各年度の管理費のうち改良費を加算した。
- ・償還率は、償還準備金を事業資産から交付金を差引いたもので除した。

#### 損失補填引当金

損失補填引当金は、個々の道路で将来事情の不可測性等により償還計画満了時に借入金等が残った場合に備えて、その補填に当てるため料金収入の一部を積み立てているもので、道路整備特別措置法施行令で定められている。

すなわち損失補填引当金は、決算では費用として扱っているが、将来のリスクに備え、公社の経営の安定を図る内部保留金としての性格を持っており、その残高は借入金の返済余裕を表している。

損失補填引当金の残高は平成17年度末で298億円あり、毎年増加している。